



卷一十二第

年一十和昭



第二十一卷總目錄

昭和十一年

研究

「アレント漂浪記」の史料的价值	文學博士 時野谷常三郎	一	(一〇六)
新唐書に就て	文學博士 岡崎文夫	一	(一五七)
古代朝鮮の祭政と穀靈信仰に就いて(上・中・下)	文學士 三品彰英	三二一	(一六七) (二七三) (五六五)
——我が瑞穂國古代研究への序として——			
行幸の函簿と神幸の列次	出雲路通次郎	一	(二〇六)
キロン叛亂とその年代	文學博士 原 隨 園	二	(二二九)
類聚國史に就いて	文學士 坂本太郎	二	(二四八)
國民國家確立の一過程(上)	文學士 西井克己	三	(四四七)
如墨委面考	文學士 藤田元春	三	(四七一)
唐鈔本唐令の一遺文(三三)	文學士 那波利貞	四三	(五〇七) (七五二)
並河誠所の五畿内志に就いて(上・下)	文學士 室賀信夫	四三	(六一五) (八一二)

ボーリングブローク子と史學說……………文學士 千代田 謙 四 (六七九)

美術史學の立場……………文學士 井 島 勉 四 (七一九)

雜 纂

讀史劄記……………文學士 宮崎 市 定 一 (一二四)

但馬の伊達氏に就いて……………文學士 時野谷 勝 一 (一五九)

源頼朝に對する評論……………文學博士 牧 健 二 一 (一七三)

我國原古に於ける「カミ」に就いて(上・下)……………文學士 鈴木 讓 四 二 (三三〇)

——特に高砂族及び南方民族より見たる土俗學的考察——

德川時代大阪商人の商魂……………文學士 有 働 研 造 二 (三五七)

——主として海保青陵の著書を通じて見たる——

イスパニヤ法制史上に於ける羅馬法の使命……………文學士 戸 倉 廣 二 (三八三)

シーボルト先生の追憶……………エフ・エム・トラウツ 二 (四〇七)

日向の二日旅—伊東滿所が母の事ども……………文學博士 濱 田 青 陵 二 (四一三)

波斯「エズド」に於ける拜火教の現況……………文學士 足 利 惇 氏 三 (六三九)

森尙謙と護法資治論……………文學士 前 田 一 良 四 (八五六)

紹 介

○日本封建制度成立史○眞福寺善本目錄○楠公父子眞筆集○維新前史の研究○樂浪王光墓○景印舊鈔本史記考景本

紀第十一○東洋史研究○朝鮮金石考○Arminio Janner; Individualismus und Religiosität in der Renaissance. ○ナル交通及び聚落と地形…………… (一九二—二〇二)

○佛像彫刻○神社制度史の研究○續法隆寺研究○日本農民史○土田杏村全集、第十卷、藝術史研究、同第十一卷、

國文學研究、同第十二卷、日本精神史○大阪郷土史叢書(大阪地方と寺院、古代の大阪、大阪陣の起因、大阪の町人

史)○熾仁親王日記○京都帝國大學國史研究室藏史料集○蒲壽庚の事蹟○西洋近世史學史序説○CLIO Introduction

aux études historiques. ○太平洋を繞る國々○考古學論叢○T. Passok; La Céramique Tripolitaine. …………… 二 (四二八—四四〇)

○楠木合戰注文○先聖先賢聖道一轍義○近世政治史(新日本史叢書)○滋賀八幡町史綱要○軍事史研究の創刊○現代

支那概論○東洋文化史研究○Ferdinand Lot; Les Invasions germaniques. ○F. Meinecke; Die Englische Prä-

manntik des 18. Jahrhunderts als Vorstufe des Historismus. ○Henri Pirenne et Henri Sée 兩教授の訃○經濟地理

學要義…………… 三 (六五六—六七〇)

○園太曆卷一○書紀集解卷上○高野山文書第五卷(金剛三昧院文書)○日本史學史○日本村落史概説○滿洲國安東省

輯安縣高勾麗遺蹟○西洋法制史講義○エンケルマン(西哲叢書XIII)○重農學派の政治學説○石橋博士還曆記念論文集

(地理論叢第八輯)○考古學年報…………… 四 (八六五—八七九)

彙報

○史學研究會○京都帝國大學文學部創立三十周年祝典記事○地理學談話會○西洋史讀書會○東洋史談話會○支那學

會○民俗學會○讀史會○京都帝國大學文學部學生 東北北海道旅行記…………… 一 (二〇三—二二五)

○京都帝國大學文學部史學科昭和十年度卒業論文題目○石橋五郎評議員の還曆退職○史學研究會○讀史會○民俗學會○東洋史談話會○支那學會○西洋史讀書會○地理學談話會……………二 (四四一—四四四)

○京都帝國大學文學部史學科昭和十一年度講義題目○史學研究會○讀史會○西洋史讀書會○地理學談話會○東洋史談話會○支那學會……………三 (六七一—六七五)

○京都帝國大學文學部國史科學生紀和地方見學旅行記○史學研究會○國史學會○西洋史讀書會○東洋史研究會○京都帝國大學夏期講演會……………四 (八七九—八八四)

會 報

一 (二二六—二二七)
 三 (六七六—六七七)
 二 (四四四—四四五)
 四 (八八四—八八五)

史學研究會會員名簿……………四 附錄